



古林 美穂さん

岡山県湯原温泉  
プチホテルゆばらリゾート

## 農家のお婆ちゃん

京都市・嵐山温泉の  
彩四季の宿花筏の中西  
美穂さんより引き継ぎ  
ました。岡山県湯原温  
泉「プチホテルゆばら  
リゾート」の古林美穂  
です。

「農家のお婆ちゃん  
みたい」

地元高校を卒業後、  
そのまま主人と結婚し  
世間知らずのまま旅館  
の若女将へ。当時は、  
古い旅館で年上の接待  
さんも住み込みで常時

主人は調理をしてい  
ましたが、当時の温泉  
街の有りようや旅館の  
経営方法に疑問を持っ  
ていて青年部の皆さん  
と集まってはよく話し  
合っていました。結婚  
して十年目、主人は親

4人ほどは働いてい  
て、右も左も分からぬ  
まま若女将というより  
は見習いからスタート  
しました。

小さな宿でしたから  
家族的なところもあり  
子育てなど助かること  
もありましたが当時の  
お客様は団体客が主で  
戸惑うことや辛いこと  
も多かったです。

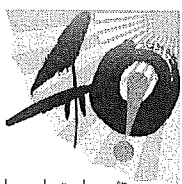
という難病になり長期  
の入院、治療方法がな  
いとやむなく退院。私  
は以前から抱えていた  
子宮筋腫の手術を交代  
で受けることとなり入  
院すると精密検査でス  
テルス性の胃がんで、

との大げんかの末、代  
替わりを行い旅館から  
プチホテルへと営業形  
態を変えました。

代への交代に思いをは  
せています。主人は長  
年務めていた業界の役  
職も退きのんびり過ご  
しています。私も地域  
の婦人会長などの役職  
を終え、ほっと一息。  
孫守と漬け物づくりや  
手作りの味噌やドレッ  
シング、自家製の燻製  
づくりなどを楽しみな  
からお客様にも好評い  
ただいています。

何かと大変な半生で  
したが、今は子どもた  
ちも大きくなり次の世  
を経営も何とか軌道に  
乗りかけた時、主人は  
手足の神経が麻痺する  
状態を変えました。

何かと大変な半生で  
したが、今は子どもた  
ちも大きくなり次の世  
を経営も何とか軌道に  
乗りかけた時、主人は  
手足の神経が麻痺する  
状態を変えました。



をもつてJKK

全旅連・女性経営者の会  
リレーコラム  
Vol. 92

次は山口県・梅乃屋  
の佐伯与志子さんにバ  
トンタッチします！